

発行者	森田 康昭	昭久
編集者	泉 秀明	明
発行所	連合熊本地域協議会 熊本地区労働者福祉協議会	
〒862-0976	熊本市中央区九品寺1丁目17-9	
TEL 096-375-3015	FAX 096-375-3016	

連合熊本地協情報

一隅を照らす灯りとして

2025列島グリーンキャンペーン！

少し汗をかきました！ 緑のクリーンキャンペーン

来年も、多くの子ども達に参加して欲しいですね！

連合熊本地域協議会 ・ 熊本地区労働者福祉協議会

◆ 連合熊本地域協議会（議長：森田康昭）と熊本地区労働者福祉協議会（会長：天野寿久）は、9月6日（土）に標記列島クリーンキャンペーンを実施しました。

◆ 実施場所は、今回も熊本市内中心部の繁華街一帯でした。

◆ 参加者と一緒に、環境美化問題の意識高揚を図りながら、清掃活動を実施したところです。

◆ 各構成組織・労福協事業体より、総勢125名の参加があり、猛暑日が続く中で一所懸命の清掃活動に取り組んでいただきました。ご参加いただいたみなさま、ご協力誠にありがとうございました。集まったゴミは、全部で6袋となり街中の美化に貢献できました。

◆ 今後も、継続して取り組んでいきますのでご協力をお願いします。



森田議長



天野会長

※列島グリーンキャンペーン

連合は、全国の地域協議会を活動母体に、他団体にも協賛をお願いするなどして全国でキャンペーンを例年9月に展開しています。

目的は、地域の環境美化の気運醸成や実際の清掃活動を行うなど地域と、連帯した活動を行っています。熊本地協は、今年も実施しました。



けっこう落ちてるね！



たばこの吸い殻捨てないでねー



誰が捨てたんかね～



参加のみなさん

連合熊本 熊本地域協議会

第3回県北3地協合同研修会

③連合熊本地域協議会（議長：森田康昭）は、各地域協議会の日常交流や連携と連合運動の前進を進めるべく標記の研修会に参加しました。

③開会（司会）を、肥後有明地協の入江事務局長が行い開催地協を代表して馬場議長から日頃の地協活動の於ける相互協力に御礼をのべながら挨拶がありました。

③今回は、最初に「山鹿市の観光振興の取組みについて学ぶ」をテーマに豊前街道散策と八千代座等の見学を行いました。

③その後講演として、山鹿市役所の西原係長を講師に招き、「歴史・文化・景観を生かしたまちづくり」と題してご講演をいただきました。

③各地協に於ける、今後の政策制度要求につなげていくことを参加者で確認し研修会は終了しました。



馬場議長

入江事務局長



研修会の様子



講師 西原係長様



現地研修

第3回県北3地協合同研修会を開催しました！
 ③今回は肥後有明地協が主催＝ 3地協（熊本・菊池阿蘇・肥後有明）
 2003年9月12日、連合評価委員会最終報告（中坊公平（弁護士）座長）がだされました。「このままでは、連合運動は衰退していく」として様々な提言が行われています。
 構成組織・地域・組合員に運動を理解して頂くことによって、理解が深まりいざという時力になっていただくことができます！
 「働くことを軸とする安心社会」
 全国の地域協議会の再編強化！
 地域に顔の見える運動を展開！



会議参加のみなさん(八千代座の前で)

12月1日は、世界エイズデー

HIV感染症とは？ AIDS<エイズ>とは？

本文※を参照ください

2023年末現在、HIVとともに生きている人は世界で約3,990万人

早期発見！早期治療★

熊本地協は、熊本市エイズ総合対策推進会議に委員を派遣！

②連合熊本地域協議会（議長：森田康昭）は、熊本市エイズ総合対策推進会議の委員として、泉事務局長を派遣しています。

③この推進会議は、エイズに関する正しい知識の普及啓発のあり方を総合的に検討し、偏見や差別のない「健康と生命（いのち）」を大切にするまちづくりに寄与することを目的として、平成8年に設置されました。

④会議では、各委員が所属する団体における取り組みや、熊本市の現状につ

いて情報を共有し、それぞれの団体でのエイズに関する周知・啓発活動へとつなげる取り組みが紹介されました。

⑤熊本地域協議会としては、熊本市健康福祉局保健衛生部に依頼し、第96回メーデー熊本県中央祭典において啓発ブースを設置（右写真）し、エイズに関する啓発活動に協力しました。

⑥今後も、エイズに対する正しい知識の普及と啓発活動に積極的に取り組んでまいります。



2025年4月更新

熊本市の性感染症(STI)感染情報

性感染症 (STI) とは 行方によって感染する病気の事です。感染しても症状に気付かないことが多く、他の人に感染させたり、症状がひどくなって感染がわかるケースもあります。また、よくなっても予防しなければ繰り返し感染することもあります。近年、全国的に報告数が増加しています。熊本市も同様に増加しています。

熊本市保健所に届けられるSTIは次のようになっています

※保健所への届出の必要のないSTIもたくさんあります。

全ての医療機関が感染者を報告する性感染症（全数報告）

・AIDS/HIV(後天性免疫不全症候群)
・梅毒

決められた医療機関が感染者数のみ報告する性感染症（定点報告）

・クラミジア感染症
・性器ヘルペスウイルス感染症
・尖圭コンジローマ
・淋菌感染症

熊本市におけるSTI発生状況 ※AIDS/HIVについては熊本県の報告数。

【AIDS/HIV（後天性免疫不全症候群）】



2024年までの熊本市の累計報告数は、患者99人、感染者140人の計239人となりました。全国の新規報告数は2022年(R4)より、再び増加しています。熊本県では、ほぼ横ばいの状態です。また、エイズを発症してからHIV感染が判明する「いきなりエイズ」の割合が、全国平均(3割程度)と比べて高く(4割程度)になっています。

※HIV=AIDS HIVはAIDS(後天性免疫不全症候群)の原因ウイルスの名です。

熊本市保健所ではHIV(エイズ) 検査相談を予約制で行っています。

詳しくは☎二次元バーコードから

熊本市におけるSTI発生状況

【梅毒】



2024年の全国の梅毒の報告数が、全数報告となった2011年以降2番目に多い14,809人となりました。2024年の熊本市の報告数は178人となり、全体の報告数は昨年より僅かに減少したものの、女性は1.2倍となり、女性の若い世代の感染の勢いが止まりません!!

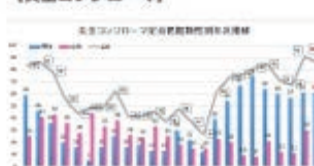
【クラミジア感染症】



【性器ヘルペス感染症】



【尖圭コンジローマ】



【淋菌感染症】



定点報告のSTIについては横ばい状態ですが、依然として報告数が多い状況です。

STIは症状がわかりにくい、完治しても何度も感染する、自然治癒しないなどやっかいな感染症です。

リスクの高い性行為はダメ
不特定多数との性行為
コンドームなしの性行為

性感染症についてのご相談はこちらへ

熊本市保健所 ☎096-364-3189

※ HIV感染症とは？AIDS<エイズ>とは？

HIV感染症とは、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)に感染している状態を指します。～HIVに感染すると、免疫力が徐々に低下し、さまざまな病気にかかりやすくなります。

HIVと進行性HIV感染（AIDS<エイズ後天性免疫不全症候群）は同義語として扱われることがありますが、これらは異なるものです。進行性HIV疾患は、HIVに感染して免疫力が低下した結果、日和見感染症や悪性腫瘍を1つ以上合併した状態のことを示します。



■厚生労働省エイズ動向委員会報告概報！（厚労省HPから）

1981年に最初のエイズ症例が報告されて以来、世界中でHIV感染が急激に広がる。現在は多少ペースが鈍化したものの、HIV感染者数・エイズ患者数は増え

続け、2023年末現在、HIVとともに生きている人は世界で約3,990万人。2023年に新たにHIVに感染した人は約130万人、エイズ関連疾患によって亡くなった人は約63万人。日本では、2023年の新規HIV感染者/エイ

ズ患者報告数は960件 7年ぶりに増加に転じる。但し、新型コロナウイルス感染症の影響もあるかも？ また、感染を知らずに、エイズを発症して初めて気づいたというケースが約3割を占めている。

